

# Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリおよび Cisco Webex Productivity Tool の更新サービス コマンド インジェクションの脆弱性



アドバイザーID : [cisco-sa-20190227-wmda-cmdinj](#) [CVE-2019-1674](#)  
初公開日 : 2019-02-27 16:00  
バージョン 1.0 : Final  
CVSSスコア : [7.8](#)  
回避策 : No workarounds available  
Cisco バグ ID : [CSCvn55874](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Windows 向け Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリおよび Cisco Webex Productivity Tool の更新サービスの脆弱性により、認証されたローカル攻撃者が、特権を持つユーザとして任意のコマンドを実行する可能性があります。

この脆弱性は、ユーザ指定のパラメータの検証が不十分なため発生します。攻撃者は、巧妙に作成された引数を指定して更新サービス コマンドを呼び出すことにより、この脆弱性を悪用する可能性があります。この不正利用により、攻撃者はシステム ユーザ権限を使用して任意のコマンドを実行する恐れがあります。

CVSS 攻撃ベクトルのメトリックが攻撃者のローカル アクセスの要件を示す一方で、管理者は Active Directory の展開において、オペレーティング システムのリモート管理ツールを利用してリモートから脆弱性が悪用される可能性を認識する必要があります。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190227-wmda-cmdinj>

## 該当製品

## 脆弱性のある製品

この脆弱性は、Microsoft Windows エンドユーザ システムの実行中に、33.6.6 より前のすべての Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリ、および Cisco Webex Productivity Tool リリース 32.6.0 以降 33.0.7 以前のバージョンに影響します。

脆弱性のあるバージョンの Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリケーションが Windows マシンにインストールされているかどうかを確認するには、Cisco Webex Meetings アプリケーションを起動し、アプリケーションウィンドウの右上にある歯車のアイコンをクリックして、バージョン情報メニュー項目を選択します。現在インストールされているバージョンが表示されたポップアップウィンドウが開きます。これは、[『Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリケーション バージョンを確認』](#)にも記載されています。

脆弱性のあるバージョンの Cisco Webex Productivity Tools が Windows マシンにインストールされているかどうかを確認するには、Windows タスクバーの Webex Productivity Tools アイコンを右クリックして、メニューから About を選択します。現在インストールされているバージョンを表示するポップアップウィンドウが開きます。これは、[『Windows 用 Cisco Webex Productivity Tools バージョンを確認』](#)にも記載されています。

## 脆弱性を含まないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

シスコでは、本脆弱性がこれらの製品の Apple Mac OS X または Linux のバージョンには影響を及ぼさないことを確認しています。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェアアップデートをリリースしています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェアアップグレードをインストール、ダウンロード、アクセスまたはその他の方法で使用した場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェアライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティ

ソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[シスコのセキュリティアドバイザリおよびアラート ( Cisco Security Advisories and Alerts ) ] ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したが Cisco Service Contract をご利用いただいていない場合、また、サードパーティベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを POS から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

## 修正済みリリース

Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリ ( Cisco Webex Meetings スイート WBS33 )

この脆弱性は、Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリのリリース 33.6.6 および 33.9.1 で修正されています。

管理者は、[『Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリの大規模導入における IT 管理者向けガイド』](#)の指示に従うことによって、ユーザ ベースに対して Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリをアップデートできます。

ユーザは、Cisco Webex Meetings アプリを起動し、アプリケーション ウィンドウの右上の歯車アイコンをクリックし、ドロップダウンリストから [アップデートエントリを確認 ( Check for Updatesentry ) ] を選択し、Cisco Webex Meetings デスクトップを更新できます。これは、[『Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリケーションの更新』](#)にも記載されています。

Cisco WebEx Productivity Tool ( Cisco Webex Meetings スイート WBS32 )

この脆弱性は、Cisco Webex Productivity Tool リリース 33.0.7 で修正されています。

Cisco WebEx Productivity Tool はオプションのコンパニオン アプリケーションです。このアプリケーションを使用すると、ユーザは、Meetings の Web サイトにアクセスせずに、デスクトップから会議を迅速にスケジュール設定し、参加できるようになります。このアプリケーションを、Webex での会議をホストしたり参加したりするためのコア機能を提供する主要なクライアント アプリケーションである Cisco Webex Meetings Client と混同しないでください。

管理者は、[『Cisco Webex Meetings デスクトップ アプリの大規模導入における IT 管理者向けガイド』](#)の指示に従うことによって、ユーザ ベースに対して Cisco Webex Productivity Tools をアップデートできます。

ユーザは、Cisco Webex Meetings アプリケーションを起動し、アプリケーション ウィンドウの右上の設定をクリックし、ドロップダウンリストから [アップデートを確認 ( Check for Updates ) ] を選択することによって、Cisco Webex Productivity Tools をアップデートできます。これは、[『Windows 用 Cisco Webex Productivity Tools 更新プログラムを確認』](#)にも詳細が記載されています。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

## 出典

シスコは、この脆弱性を報告していただいた SecureAuth 社の Marcos Accossatto 氏に感謝いたします。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190227-wmda-cmdinj>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2019 年 2 月 27 日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したり

する権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。